

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO. 148 2014. 2. 14

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル4F 岐阜女子大学 文化情報研究センター内
日本教育情報学会 運営本部事務局 Tel:058-267-5233 Fax:058-267-5238
E-mail:nkjg@gijodai.ac.jp http://jsei.jp/

＝ 日本教育情報学会 第30回年会 ＝

8月9日(土)・10日(日) 京都市立芸術大学において開催 ＜年会テーマ：「今」にふさわしい学びの環境をつくる＞

第30回年会は、8月に京都市立芸術大学を会場として開催することとなりました。今年度の年会では従来の課題研究に替えてテーマ別セッションを開催し、各セッションのコーディネータがシンポジウムのシンポジストとして登壇することで年会テーマの深化を図りたいと考えております。年会の概要と研究発表の応募要項をお知らせいたします。なお、発表申込がWeb申込となりますので要項をご熟読の上、期限内に手続きを行なってくださいますようお願い申し上げます。

皆様のご参加とご発表を心よりお待ちしております。 『京都へおこしやす!』

第30回年会実行委員長 横田 学

開催日：2014年8月9日(土)・10日(日)

会場：京都市立芸術大学

<所在地>〒610-1197 京都府京都市西京区大枝沓掛町13-6

<URL> <http://www.kcua.ac.jp/>

事務局：日本教育情報学会 第30回年会実行委員会

京都市立芸術大学 美術学部 横田研究室

<E-mail> jsei-2014@gifu-u.ac.jp

年会ホームページ： <http://lsa-j.org/jsei/nenkai/nenkai30/>

日程（予定）

<1日目> 8月9日（土）		<2日目> 8月10日（日）	
9:30～	受付開始	9:30～	受付開始
10:00～12:00	テーマ別セッション	10:00～12:00	研究発表
12:00～13:00	昼休み 理事会・評議員会	12:00～13:00	昼休み
13:15～13:45	総会・学会賞表彰式	13:00～15:00	研究発表
14:00～15:00	基調講演		
15:15～16:15	狂言の上演とその伝承	15:15～17:15	研究発表
16:20～17:45	シンポジウム		
18:00～	懇親会		

【1】基調講演 ～伝承と協働活動を融合したハイブリッドな学会をめざして～

会長：林 徳治（日本教育情報学会次期会長、立命館大学教育開発推進機構 教授）

[趣旨]

日本教育情報学会は、1985年に設立され29年を迎えた。会員数は、設立当初より多少の微減はあったものの、多くの不動の会員に支えられ今日に至っている。本学会を支えていただいた会員各位に謝意を表したい。この間、多くの教育現場の実践者を研究者として育成した学会の功績は多大である。

本学会は、元文部事務次官の故木田宏初代会長のもとに産官学より多くの識者が参集し、広く学際的に教育情報に関する教育研究を取り扱い教育実践の重要性を唱えた。その後、後藤忠彦会長により、この理念は継承され、科学技術の進展に伴うデジタル化によるアーカイブや電子教科書、著作権、ICT活用教育等今日的諸題に着目し、有能な会員集団による協働活動を通して発展した。ここに改めて歴代会長への敬意と謝意を表したい。

本講演では、これからの本学会の在り方について歴代の会長による理念の「伝承」と、発展を目指した会員集団による「協働」に焦点を当て再考したい。そこでは、単に学術的な理論に留まらず、本学会で活躍している優れたハイブリッド（伝承・協働）な教育研究者の実践事例を紹介し、彼らの考えや理念を共有することにより、今後会員各位の教育研究活動や、若手教育研究者の人財育成を図る学会の在り方について共に考える契機としたい。

【2】テーマ別セッション

現代社会は、新しい知識・情報・技術が、あらゆる領域における活動の基本として重要になる社会、いわゆる知識基盤社会の時代だと言われている。また、少子化・高齢化、国際化、高度情報化などが急速に進展する社会の中で、安心安全な社会の実現、我が国の国際競争力の低下など様々な課題も山積し、近年の価値観の多様化やライフスタイルの変化などにより、教育に対するニーズも多様化している。

このような「今」、皆さんは「学びの環境」という言葉から、どのような事を連想されるだろうか。本年会では、年会テーマを『～「今」にふさわしい学びの環境をつくる～』とし、テーマ別セッションでは、『学びの環境』どのようにつくるのか (1) ハードウェアの視点から「メディア」、(2) ソフトウェアの視点から「方法論」、(3) 人の視点から「マネジメント」の3つのサブテーマを設定し研究討議する。

〈1〉メディアからのアプローチ

現代の教育環境を考えると、eラーニング、遠隔教育やデジタル教科書等、ネットワーク環境など情報通信メディアの開発や整備は必要不可欠のものとなっている。本セッションでは「学びの環境」についてメディアの視点から論議を深める。

〈2〉方法論からのアプローチ

教育環境と言うとハードウェアの整備に目が向きがちであるが、そのハードウェアを「いかに活用するか」が課題となる。本セッションでは、アクティブ・ラーニング、協働学習、協調学習、反転学習など教育の方法論から「学びの環境」について論議を深める。

〈3〉マネジメントからのアプローチ

教育環境を支えるのは、勿論教育者としての「人」である。本セッションでは、人を育てる、人を動かす、人を組織する事に関わる、教育行政、教員養成、教師教育などから「学びの環境」について論議を深める。

【3】シンポジウム ～「今」にふさわしい学びの環境をつくる～

〔趣旨〕

本年のシンポジウムは、午前中に開催するテーマ別セッションと連動させ、研究テーマの深化を図ることとする。なお、シンポジウムに先立ち、日本の伝統芸能である「狂言」の上演及びその伝承指導（教育）の実演をプログラムに組み入れ、シンポジウムでは、3つのテーマ別セッションのコーディネータに加え、伝統文化伝承の視点から能楽師にもシンポジストとして登壇して頂き、「今」にふさわしい学びの環境とはどのようなものか、またどのように創っていくのか討議するとともに、会場の皆さんと共に探りたい。

【4】研究発表申込募集

① 研究発表申込み資格

第1発表者（当日発表を行う方）は、会員資格（正会員・学生会員）が必要となります。非会員の方は、学会運営本部事務局（nkjg@gijodai.ac.jp）に申込み、入会登録手続きを行ってください。

★ 会員番号をお忘れの方へ ★

郵送物の宛名ラベルに印字してある4ケタの数字が会員番号となります。ご参照ください。

※研究発表の申し込みや発表原稿の提出には、会員番号が必要となります。

② 発表内容について

「教育情報に関する研究」であれば特に内容は問いません。「教育情報」とは、「教育に関する情報」と「情報に関する教育」の内容となります。想定される発表セッションのキーワードは下記の通りです。応募状況に応じてセッションを設定する予定です。

キーワード

教育情報管理、文献資料、教材、電子教科書、デジタル・コンテンツ、教材開発、メタデータ、情報カテゴリー、シソーラス、デジタル・アーカイブ、知的財産権、プライバシー、カリキュラム、教材研究、学習評価、授業分析、教育システム、共同学習（遠隔協働学習）、交流学习、高大連携、生涯学習、教師教育、情報教育、教科教育、情報処理教育、eラーニング、教育情報システム、学習ソフトウェア開発、学習情報管理システム、データベース、情報検索、インターネット、遠隔教育、遠隔教育システム、ネットワーク、プレゼンテーション、電子黒板、マルチメディア、国際貢献・協力、国際理解、特別支援教育、高等教育、専門教育、技術教育、初等中等教育、情報モラル、メディアリテラシー、アクティブ・ラーニング、反転学習

③ 発表申込み方法について

今年度より発表申込みを、年会ホームページ上の＜申込みフォーム＞からお申込みいただくこととなりました。

年会ホームページ以外での受け付けおよび申込期限後のお申込みは受け付けることができませんのでご注意ください。

なお、申込み後の申込内容変更については、メール＜jsei-2014@gifu-u.ac.jp＞にご連絡をお願いします。

《1》 発表申込み方法

WEB上の発表申込みフォームからお申込みください。

第30回年会ホームページ〈<http://lsa-j.org/jsei/nenkai/nenkai30/>〉の「発表申込み」のページにある「発表申込みフォーム」から、必要事項をご入力いただき、お申込みください。

《2》 発表申込み期間

3月3日(月)～4月21日(月)

《3》 申込み完了メール

WEB上の「申込みフォーム」からお申込みをいただき、登録が完了すると、お申込み時に入力されたEメールアドレスへ『申込み完了メール』が送信されます。

※申込み完了後は必ず『申込み完了メール』が届いていることをご確認ください。

《4》 発表可否通知期間

5月2日(金)～5月9日(金)

発表のお申込みをいただいた方には、5月2日(金)～5月9日(金)の間に、発表の可否をメールで連絡します。

《5》 年会論文集原稿提出

発表を可とされた方には、論文の執筆要項をお送りします。論文の原稿枚数は2枚とします。原稿は「年会論文集」の版下の形で、年会ホームページ内の「原稿提出フォーム」からデジタル原稿(PDFファイル)で年会事務局に提出していただきます。

《6》 原稿提出締切日

6月30日(月)

★ 発表申込書の記入の注意事項

- ①発表者とは
研究発表会場で口頭発表する会員です。
- ②発表件数について
発表者として1人につき1件のみとします。
- ③キーワードについて
前記の〈キーワード〉の中から2～5語以内を選んでください。

当日の発表時間

- ・発表時間：1件【15分】〈発表時間10分、質疑時間5分〉

発表申込み手順

web申込みフォームから

申込期間：3月3日～4月21日



申込み完了メール受信



発表可否通知

通知日：5月2日～5月9日



年会論文集原稿提出

提出期限：6月30日

【5】参加について

① 参加申込について

次号ニューズレターで、申込み方法等詳細についてご案内いたします。

② 参加料について

参加費、年会論文集代、懇親会費(参加自由)は下記のとおりです。

なお、支払方法につきましては、次号ニューズレターでご案内いたします。

○参加費

- | | | |
|-----------|-----|---------|
| ・会員<事前申込> | 参加費 | 3,000 円 |
| ・会員<当日> | 参加費 | 4,000 円 |
| ・非会員 | 参加費 | 4,000 円 |

○年会論文集代 3,500 円

○懇親会費 5,000 円

【6】年会開催までのスケジュール

- | | |
|---------|----------------------------------|
| ○発表申込締切 | 2014 年 4 月 21 日 (月) |
| ○発表決定通知 | 2014 年 5 月 2 日 (金) ~ 5 月 9 日 (金) |
| ○論文提出締切 | 2014 年 6 月 30 日 (月) |
| ○参加申込締切 | 2014 年 7 月 25 日 (金) |

日本教育情報学会 運営本部事務局

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町 10 番地 杉山ビル 4 F

岐阜女子大学 文化情報研究センター内

Tel: 058-267-5233 Fax: 058-267-5238 E-mail: nkjg@gijodai.ac.jp